

浸水対策していますか？

JASO

水害対策アドバイザー制度のご案内

頻発する豪雨に不安を抱える 管理組合の皆様へ

いま、日本各地は浸水被害のリスクにさらされています。2019年の台風19号（東日本台風）では、荒川の堤防が決壊寸前までいったことや、多摩川流域の浸水によりマンションの機能が停止するなどの被害が生じたことは、記憶に新しいことでしょう。

JASOは建築・設備・構造の専門家で構成されています。2004年より耐震化支援活動を行ってまいりましたが、そうした状況を憂慮し、水害対策アドバイザー制度を設立しました。アドバイスは建築各分野の視点から多面的に行います。浸水被害に対しての不安を抱える管理組合の皆様はご利用ください。お問い合わせは下記までお願いします。

問い合わせ先

NPO法人 耐震総合安全機構 (JASO)

〒112-0013 東京都文京区音羽 1-20-16 PAL音羽ビル7階

TEL:03-6912-0772 FAX:03-6912-0773

水害の不安を感じたら・・・

- ▶ 最近ゲリラ的な雨が降るので浸水しないか不安だ
- ▶ どこまで浸水してしまうのだろう
- ▶ 浸水したらこの地域、建物はどういう状況になってしまうのか
- ▶ 浸水時の設備（電気、水道、ガス、下水、エレベーター）は大丈夫なのか
- ▶ 何から手を付けて良いか分からない

そんな時は、水害対策アドバイザー制度をご利用ください。

水害対策の道のり

ステップ
1

アドバイザー派遣申込

耐震総合安全機構【JASO】にアドバイザー派遣の申し込みを行います。
(派遣費用8万円/件より)



ステップ
2

アドバイザー派遣

アドバイザーがマンションなどに訪問して、水害に関するヒアリングを行います。また、保管している竣工図等を開覧の上、目視により建物の構造、設備等について確認いたします。



ステップ
3

報告書の作成

1ヶ月～2ヶ月程度のお時間を頂きます。報告書はJASO内部の会議にかけピアチェックを行います。



ステップ
4

報告

建物の想定される浸水被害の予想や、浸水に対する弱点の指摘、浸水被害対策例等のアドバイスをさせていただきます。



ステップ
5

対策の実施

アドバイスを参考に、管理組合内で対策の方針を話しあい、具体的な対策を進めるときは、必要に応じて、建築専門家に相談し、設計・工事をおこなってください。
また、同時に災害時に対応するための防災マニュアルの策定や、管理組合内での役割分担等の運用面のルールを整備し、災害時に、速やかな対処が出来る準備をお願いします。

まずは、**JASO**へご連絡ください

JASOは建築・設備・構造の専門家で構成されています。水害対策のアドバイスでは建築の各分野の多面的視点からアドバイスを行います。